

ヤナギダコ（地方名：あまだこ）

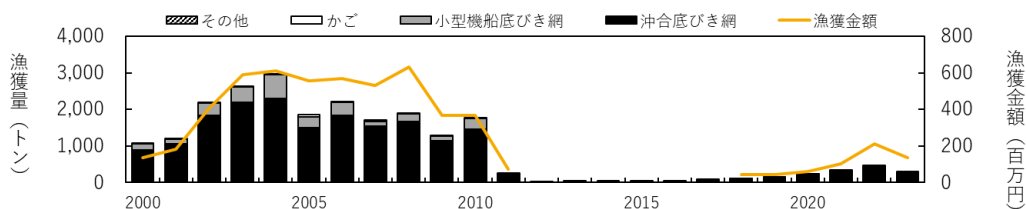
1 生態

- ・本県地先の海域においては、水深50～500mに分布します。1～6月は100m以浅へ分布を拡大しますが、9～12月は100m以深が分布の中心となります。
- ・外套長10cm以上（体重約0.8kg以上）で成熟し、交接器を持つ個体がみられます。交接は3～6月に行われ、産卵期は同年の7～8月です。
- 調査船調査で毎年採集される数g～数10gの小型群は、翌年9、10月には0.3～1.0kgまで成長すると考えられます。
- ・主に魚類、甲殻類、貝類、イカ・タコ類を食べます。



2 漁業に関する情報

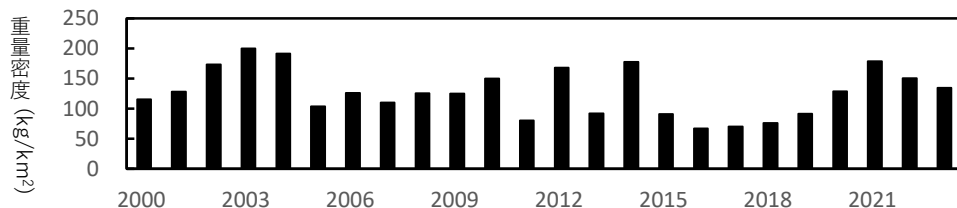
- ・主に底びき網で漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は292トン、金額は134百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2012年（平成24年）7月から再開されています。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 *2012～2017年まで相対取引のため金額データ無

3 資源の状態

- ・資源の水準：高位、資源の動向：減少
- ・調査船調査の結果では、重量密度は2015年以降、比較的低い水準で推移していましたが、2020年以降は比較的高い水準で推移しています。



調査船調査における重量密度

4 資源管理の取組み

- ・資源管理策として、小型個体の漁獲規制による資源の有効利用が考えられます。